

2022 年 10 月 3 日発行

第 118 号

エコ・リサ通信

特定非営利活動法人
埼玉エコ・リサイクル連絡会広報

パリのゴミ事情報告

出口の入り口紹介（フランス モンペリエ）

ゴミを知ろう委員会

中澤 啓子

2022 年 7 月

コロナ禍あり、ロシアのウクライナへの侵攻ありの怪しい世界情勢の中フランスに行
って来ました。

航空券を予約するときにはこのような事になるとは夢にも思わず、年明けてそろそろ
ホテルの予約を〜と思っていた矢先のロシアの行動で、飛行機の予約も二転三転し
（北周りのロシアの上空が飛べなくなったため）予定も大きく狂って、暑い熱い夏の
フランス行きでした。

先日 3R 全国ネットのオンラインセミナーでフランスの事情を説明していただきました。
た。

現実を直前に見てきましたので（視察してきたわけではありません。行って来ただけ）
皆様にお伝えしたいと思います。

併せてフランスの方たちのごみに対する考え方、買い物に際しての生活スタイルの一部
を紹介したいと思います。

フランスのごみ箱事情（モンペリエの家庭ごみ）

公園の端に置
いてあったリ
サイクルボッ
クス（段ボー
ルは入らない
ので脇に乱雑
に置かれてい
た）。
生ごみのごみ
箱は手前の黒
い箱（場所によ
っては個別
に収集が来
る）。



ペットボトル等のプラスチックごみは纏めて別に収集とのこと（モンペリエの場合）。



場所によってはペットボトルのこんなおしゃれな収集ボックスがあった！（よく見えないが魚の形）



しかし
処理はトルコに丸投げとか？

先日の話の中ではどの様に処理されているかは聞かなかった？ような・・・

スーパーマーケットや市場



野菜や果物は袋入りももちろんあるが、殆ど量り売り。



買い方は↓の写真



備え付けの袋（生分解性プラスチック）に好きなだけ入れて計量し値札を印刷してレジへ！

なお、駅の隣のスーパーでも夕方7時頃になったらパンは殆どおしまい。（残っていない）

早朝フランスパンを“むき出しで”買ってくる人がフランス人のイメージのように、多くの人が過剰包装を喜ばないようです。

買い物袋を持って買い物に行くのはあたりまえ。日本のレジ袋に当たるものは昔から有料。

因みにパリの真ん中でも定期的に市場が出ていた。袋は最低限に必要な分しか貰えません。

付録

Air Frans 機内食のカトラリー (エコノミー)

ナイフやフォークは木製（かなり固い材質だった。口当たりは良くない）
食事の入っている容器はプラスチック（容器ごと温められてラップにくるまれて配膳）



水はペットボトル(蓋が取れないタイプ)ヨーグルトやゼリーの容器もプラスチック

ストローは写真にないが紙製（使っているうちに柔らかくなってしまいジュースが洩れて飲めなくなった。）

コーヒーのスプーンはアイスクリームの棒の様だった。

（食事後の容器の処理はどの様になっているのかわからないが、纏めてごみ袋に入れて集められた。）



その他のリサイクルポスト



ワンコ用 ポスト
袋（100%リサイクル
生分解）も用意されて
いた



不用になった本をどなたかに
読んでもらうためのポスト



犬は沢山いたがあまり使わ
れている様ではなかった



読売旅行

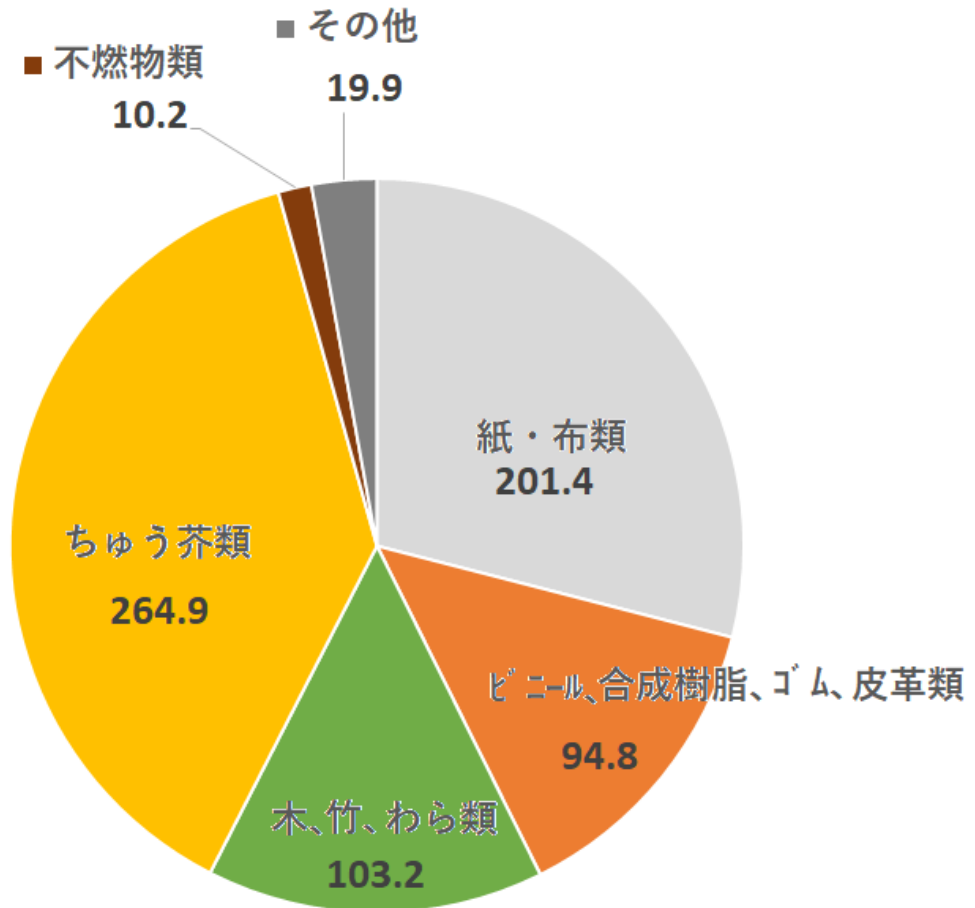
読売旅行「あなたの街から」いい旅 いつも これからも

☎03-6859-4343 FAX : 03-6859-4433

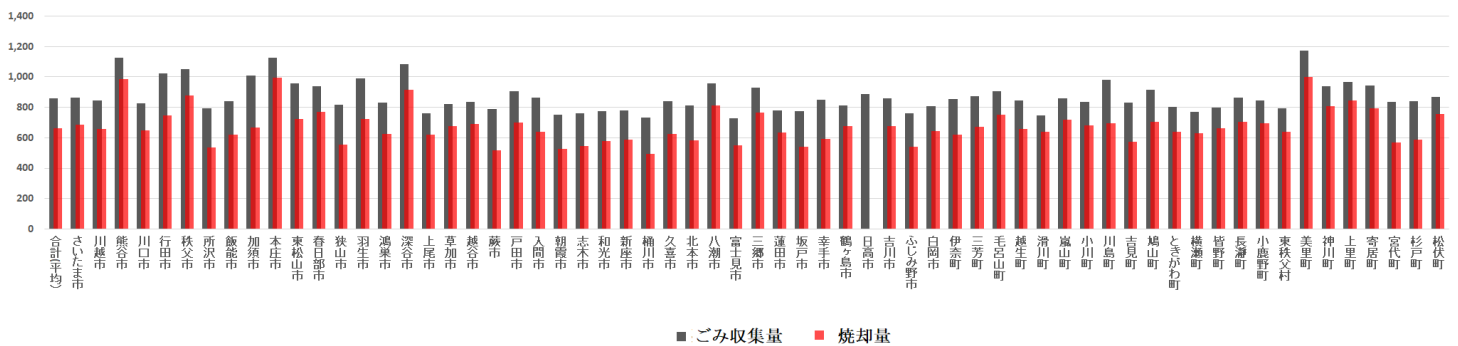
～令和2年度の埼玉県焼却ごみの内容～

環境省の一般廃棄物処理情報のデータから埼玉県の焼却ごみの内容を推計しました

令和2年度の焼却ごみの量（一人一日当たり単位 g）



令和2年度埼玉ごみ収集量と焼却処理量(1人一日当たり単位g)



各自治体のごみの焼却量は上のグラフをご確認ください。埼玉県平均は一日一人当たり 664g でした。（焼却場データ）

資源循環推進課コーナー

「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーンの開催について

「九都県市*首脳会議廃棄物問題検討委員会」では、ワンウェイプラスチック製品（使い捨てプラスチック製品）、容器包装、食品廃棄物の減量化やリサイクルを促進するため、「チャレンジ省資源宣言」事業を推進しています。

この事業は、事業者の自主的な発生抑制や減量化などの取組を支援するとともに、その取組を広く域内住民に周知することで、持続可能な資源利用への転換に向けた消費者の選択を促そうとするものです。

この取組を多くの方に知っていただき、ごみの削減を更に推進するため、下記のとおり「チャレンジ省資源宣言」プレゼントキャンペーンを実施します。

会員の皆様のご応募をお待ちしています。

※ 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

記

1 キャンペーン概要

「チャレンジ省資源宣言」を行った事業者が実施する、使い捨てプラスチック製品や容器包装、食品ロスの削減の取組を紹介するリーフレットを、小売店舗の店頭や九都県市の公共施設などで配布します。

リーフレットに添付された専用はがき又はキャンペーン特設サイトからアンケートに答えて応募すると、食材を無駄なく楽しく調理できる「電気圧力鍋」や、省資源化に取り組む事業者の商品など素敵なプレゼントが抽選で当たります。

今年度は、小売・外食店舗、公共施設でのポスター掲示に加え、電車内でのポスター掲示、映画館での本編上映前広告、ウェブを活用した広告などによりキャンペーンのPRを実施します。詳細は特設サイト

(<https://www.resource-saving.jp/challenge-2022campaign/>) をご覧ください。

2 キャンペーン応募期間

令和4年10月1日（土曜日）～令和4年11月30日（水曜日）【当日消印有効】

* 「チャレンジ省資源宣言」ポスターイメージ



=第1回 エコ・リサ ミニ学習会=

担当講師 佐藤正和氏

日時：10月20日(木) 17時～17時45分

テーマ：「捨てられた布団はどこへ行く？」

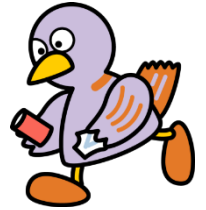
皆さんはどんな布団で寝てますか？綿？羊毛？羽毛？

使わなくなった布団はどこに捨てますか？

「打ち直し」なんて、知らない若い人も多くなっている時代です。

現在も布団の回収・リサイクルを事業として行っている私が、

布団リサイクルの現状をご報告致します。



Zoom 学習会に参加する方は10分前にお入りください。

<https://us02web.zoom.us/j/88676459024?pwd=WmtYOUhQaWQzbVhyTVdKdUJhVjgzZz09>

ミーティング ID: 886 7645 9024

パスコード: 288711

[*エコ・リサHPから直接入ると便利です。](#)

第2回エコ・リサ ミニ学習会の予定

12/15 17:00～17:45 担当講師 大前万寿美



一般
社団法人 繊維リサイクル協会

<http://tera-jpn.or.jp/index.html>

税理士法人 T&M ソリューション

毎月第2水曜日は「税の無料相談日」お気軽にお問い合わせください！

お問合せ ☎ 03-5829-9664 E-mail info@tms.or.jp

司法書士竹内啓修事務所

お問合せ ☎ 048-963-6055 不動産・商業登記全般

創業
昭和3年

珍来

www.chinrai.co.jp

編集後記:コロナの終息が見えた！は本当でしょうか？というところで、「パリのごみ事情」の報告です。ビックリするような事件も置きました。世界はどの様に進むのでしょうか？私たちはどの道を選べばいいのでしょうか？悩ましいばかりです。 轟 涼